

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

平成28年12月9日

計画の名称	1 操車場跡地から新たな都市拠点への再生とまちの利便性向上と安心・安全な歩行者空間の創出			
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	大阪府、吹田市	
計画の目標				

操車場跡地が廃止され、その大半が大規模未利用地となった吹田市と摂津市の両市にまたがる23ヘクタールの土地において、適正な土地利用転換と北大阪地域の都市拠点の形成に向けて、JR岸辺駅橋上化や南北自由通路と連携した駅前広場や関連する道路を整備することで、公共交通の利用促進と安全で快適な歩行者空間を確保するとともに、研究・教育や高度先端医療等の機能導入及び良好な都市型居住空間の誘導を行い、魅力的な都市空間の形成と良好な市街地の創出を目指す。

計画の成果目標（定量的指標）

- ①千里ニュータウン含む駅北側地域からの円滑な交通導線を確保することにより、公共交通（バス、タクシー）による駅への到着時間の短縮を図る。
- ②来街者や駅利用者の安心・安全な歩行空間の確保を図る。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

	当初現況値	中間目標値	最終目標値	備考
	(H22当初)	(H24末)	(H26末)	
千里ニュータウン（桃山台駅、南千里駅）から路線バスによる駅への到着時間を測定（①）（上段：桃山台駅 下段：南千里駅）	28分	23分	23分	
	22分	17分	17分	
岸辺駅前線交通広場等への道路整備（駅前広場含む）による歩行者通行空間（安全空間）の確保率（②）	0%	80%	100%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	1,797百万円	A	1,757百万円	B	0百万円	C	40百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	2.2%
-------	------------	----------	---	----------	---	------	---	-------	------------------------	------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
吹田市北大阪健康医療都市推進室にて実施	平成28年10月 ※成果目標①はH24年度末に実施済、②はH26年度繰越分の事業完了後のH28年度に実施。
	公表の方法
	吹田市北大阪健康医療都市推進室ホームページで公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H22	H23	H24	H25	H26			
A-1	都再区画	一般	吹田市	間接	都市再生機構	吹田操車場跡地土地区画整理事業	都市再生区画整理 22.1ha	吹田市・摂津市						904		
A-2	街路	一般	大阪府	間接	都市再生機構	吹田操車場跡地地区	区画整理 A=22.1ha	吹田市・摂津市						853		
合計													1,757			
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考					

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-1	設備整備	一般	吹田市	直接	吹田市		既存地下道改修事業	既存地下道照明LED化、内装リニューアル	吹田市						10	
1-C-2	施設整備	一般	吹田市	直接	吹田市		緑道整備事業	緑道（遠路整備、植栽、ベンチ等）	吹田市						30	
										合計					40	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	既存地下道の照明をLED照明とし、内壁を貼紙、落書き防止塗装を行うことにより安心安全の地下道としてイメージアップを図るとともに、A-1と一体的に実施することにより、駅前広場へのアクセス向上と既存地下道の混雑緩和を図り、歩行者、自転車の安全安心の向上と駅前広場の整備効果を高める。	
1-C-2	吹田市と摂津市の市域界となる正雀川は、鉄道敷地であったため、暗渠化されており、土地区画整理事業と合わせて、その上部を緑豊かな緑道として整備することで、まちの骨格となる都市計画道路と街区サービス機能を有する区画街路、隣接する貨物駅の緩衝緑地（緑の遊歩道）との回遊性を高め、岸辺駅までの歩行者、自転車の通行空間を確保し、駅前広場の整備効果を高める。	

## 2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>千里ニュータウン含む駅北側地域からの円滑な交通導線が確保され、JR岸辺駅の北側と南側で駅前広場の役割分担が可能となったことにより、公共交通機関などのアクセス改善が図られた。</li> <li>バリアフリーに対応した安心・安全な歩行空間が確保されたことにより、来街者や駅利用者、地域住民の移動の安全性が向上した。</li> </ul>
--------------------------------	---

II 定量的指標の達成状況	指標①：千里ニュータウン（桃山台駅、南千里駅）から路線バスによる駅への到着時間（上段：桃山台駅 下段：南千里駅）	最終目標値	23分 17分	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	23分 17分	
	指標②：岸辺駅前線交通広場等への道路整備（駅前広場含む）による歩行者通行空間（安全空間）の確保率	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	100%	

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）	・来街者や駅利用者にとって安心・安全な通行空間を確保され、憩いの空間や緩衝緑地（緑の遊歩道）等との回遊性が高まったことで、一層の利用促進が期待される。
--------------------------------------	---

## 3. 特記事項（今後の方針等）

- 本土地区画整理事業を通じて、道路、公園、宅地、ライフラインをはじめとする基盤が整備されたところである。これらの成果をもとに、本地区では国立循環器病研究センターを中心とした国際級の複合医療産業拠点の形成や健康寿命の延伸に資する健康づくりの取組など、広域的な医療を視野に入れた周辺地域との連携による「健康・医療のまちづくり」に向けた都市機能の充実化をさらに推し進めている。今後も都市再生整備計画事業等とも連携し、地域の特性を活かした居住空間の向上、緑豊かな公共空間の創出による魅力的な都市空間の形成と良好な市街地の創出を目指す。

(参考図面) 市街地整備

